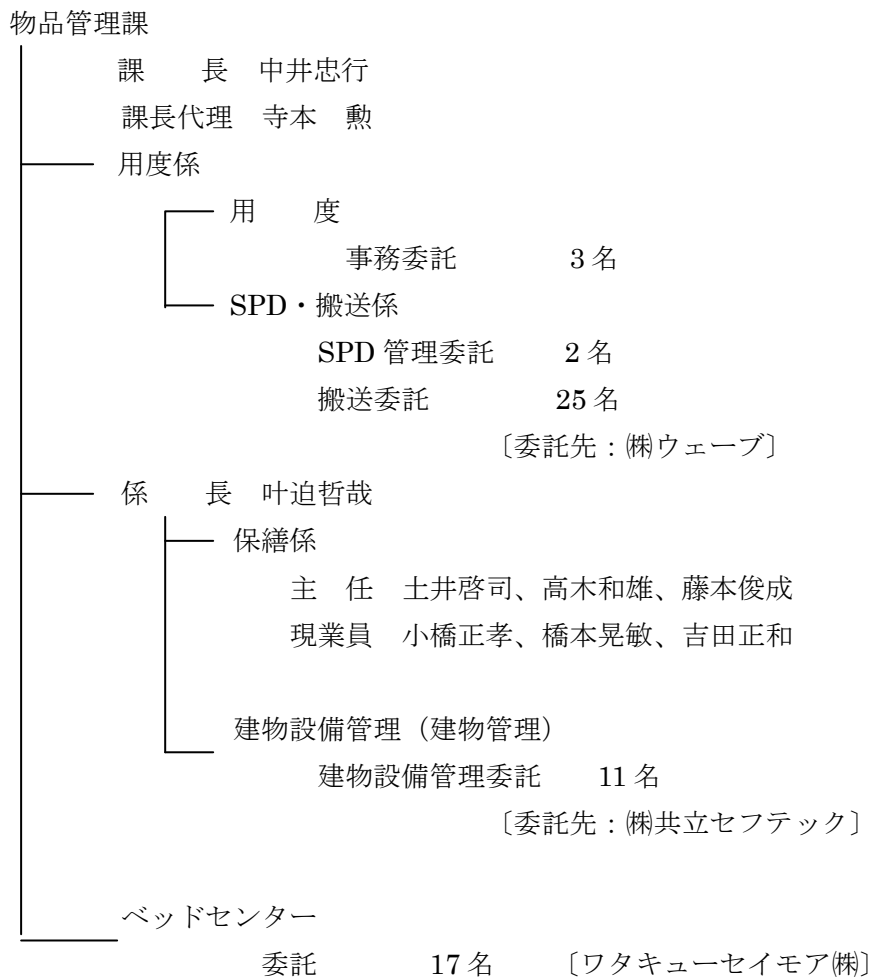


# 物品管理課

## 組 織



2009年9月7日 中山敬夫係長が退職、11月1日、新たに建築設計出身である叶迫哲哉君を係長としてむかえた。

## 用度係

### 新規購入機器

眼科 (眼科診療支援システム NAVIS)

産婦人科 (4D超音波診断装置 VOLUSON E8)

臨床検査部 (全自動免疫生化学統合システムビトロス 5600)

泌尿器科 (TUR i s内視鏡手術システム)

放射線 (R Iデジタルガンマカメラ PHILIPS SPECT 装置 BRIGHTVIEW)

臨床検査部 (医用画像管理システム 更新)

眼科 (共焦点ドクトレーザ検眼鏡 F-10)

ほか 117品目 45,600万円の医療機器・システムを購入した。

## 保繕係

- ・ 工事立会  
アンギオ室機器更新工事、眼科 NAVIS システム配線工事、手術室 X 線防護工事  
他
- ・ ドア等建物、備品修理、350 ヶ所
- ・ 血圧計、温度計等適正計量管理検査、延 387 台
- ・ カルテ製本 76 冊
- ・ シュレッダ処理、1,743 (59,770 k g)
- ・ 大型院内搬送 1812 件
- ・ 空調機・ファンコイル フィルター取替、吸込、吹出口清掃
- ・ その他、紫外線消毒、イベント研修会場準備、小型器具取付等実施した。

## 建物設備管理 (中央監視室)

日々の日常運転管理業務、日常巡回点検、週間点検、月例点検、不具合処理作業、年間保守作業対応、業者関係受付、立会業務、緊急時対応、医療機器不具合時の 1 次対応作業の他、日々のエネルギー使用量の把握により効率的な設備管理を実施した。本年度についても、原油高騰によるランニングコスト上昇を極力抑える為、ガスから電気へのエネルギー転換を積極的に進めたが、後半電気契約電力が 2400Kw に達し、エネルギー転換の推進を止めた為、前年度に較べ使用電力量が減少し、ガス使用量は増加傾向になった。

全体のランニングコストを集計し、今後の課題とした。

### ・ 不具合対応件数

項 目	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
電 気	106	87	72
電球取替え	2,864	2,802	1,327
空 調	127	115	154
給 排 水	421	334	385
建築設備	48	45	71
エアシューター	43	73	51
その他 (電話を含む)	362	245	471
総 件 数	3,971	3,701	2,531

LED 電球への交換実績増大により、電球の交換が減少傾向にある。

電気設備の不具合件数は減少傾向にあるものの、空調・給排水等は、漏水等増加傾向にある。

エネルギー使用量

電力量

	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	備 考
電力量 (Kwh)	14,669,442	15,399,851	15,271,950	

ガス

	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	備 考
ガス (m <sup>3</sup> )	1,773,454	1,731,995	1,825,755	

用水

	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	備 考
市水 (m <sup>3</sup> )	97,794	96,384	96,384	
井水 (m <sup>3</sup> )	84,409	82,261	82,261	